

12月3～9日は障がい者週間

みんなの気づきや思いやりが 共生社会を育てます

全ての人が障がいの有無にかかわらず、お互いに人格と個性を尊重し合えるまちへ。

誰もが能力や適性を生かし、生き生きと暮らせる社会をつくるためにできることは何か、この機会に考えてみませんか。

障がい福祉課 ☎ (632) 2353

障がいのある人もない人も 共に暮らせる「共生社会」

社会にはさまざまな人がいて、それぞれがいろいろな不便さや困り事を抱えて暮らしています。

しかし、自分以外の不便さには気づきにくいものです。お互いがどんなことで困っているのか伝え合い、周りの不便さに気付くこと、そして困ったときにはお互いに助け合うことが必要です。

障がいのある人への 理解を深めましょう

皆さんの中には、障がいがある人が困っているのを見掛けたとき、声を掛けるのをためらってしまったという経験がある人もいるのではないのでしょうか。また、障がいがある人の中にも、自分の困っていることを的確に周囲へ伝えることが難しい人もいます。

このようなときに活躍するのが「ヘルプマーク」や「ヘルプカード」です（下の記事参照）。お互いが分かり合うために、さまざまな方法があります。

この機会に障がいのある人への理解を深め、できることから始めてみませんか。

知っていますか ヘルプマーク・ヘルプカード

ヘルプマーク

ID 1016667



義足や人工関節、難病など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としていることを周囲に知らせるマークです。

このマークを見掛けたら、電車・バスの中で席を譲る、困っている様子の人に「どうしましたか」などと声を掛ける、災害時には、安全に避難するために支援をするなど、思いやりのある行動をお願いします。

ヘルプカード

ID 1004229



障がいがある人などが、障がいの特性や支援を受ける際に必要な情報をあらかじめ記入しておくことで、いざというときに、必要な支援や配慮について周囲の人をお願いをしやすくするためのカードです。

このカードの提示があったら、記載内容を確認して、相手が求める支援などをお願いします。

作業所でも自宅でも得意なことを生かして

本市には、障がいのある人が通い、創作活動や生産活動、地域交流などを行う地域活動支援センターが14カ所あります。

その中から、今回は、主に知的障がいのある人が通う、大曾作業所の利用者、三浦大樹さんに話を聞きました。

やりがいのある プロフェッショナルな仕事

いつも明るく、元気な三浦さん。作業所では、封筒を袋詰めする作業を担っています。

「ずっと袋詰めを専門にやっているのが得意」という三浦さんは、手早く規定の枚数を数え、きれいに袋に入れていきます。全て入れ終わったら、箱詰め作業も行います。一連の過程で気を付けているの



特集④



大曾作業所
三浦大樹さん

は「傷が付かないように、丁寧に作業すること」と語る三浦さんの手際の良さは、まさにプロフェッショナル。

また、楽しいと感じるのは「上手に、たくさん入れられたとき」と、笑顔で話し、自分の仕事にやりがいを感じています。

日常生活でも さまざまなことにチャレンジ

自宅にいるときは、食事の用意や洗濯物などの手伝い、趣味の鉄道のDVD鑑賞を楽しんでいます。また、昨年開催された障がいのある人々が参加する「うつのみやふれあい文化祭」では、作業所の仲間とダンスを披露するなど、さまざまなことに積極的に取り組んでいます。今年の発表は中止となりましたが、「またダンスを披露したい。その時は皆さんに見に来てほしい」と語る三浦さん。どんなときでも、持ち前の明るさで前進しています。

コロナに負けない

きぶな 黄鮒グッズを作っています

市内の障がい者施設では、厄よけ、病気よけの守り神として大切にされている「黄鮒」のさまざまな関連グッズを製作しています。



今月号の表紙のすぎの芽会 サポートセンターとみや(徳次郎町)では、黄鮒のストラップを利用者の皆さんが「さをり織り」という技法で織り上げています。



障がい者施設で製作された黄鮒グッズは、わく・わくショップU(市役所1階)などで販売しています。

問 すぎの芽会 サポートセンターとみや ☎(666)1122
わく・わくショップU ☎(632)7397

黄鮒はとてかわいいので、皆さん、ぜひ買って下さい♪



すぎの芽会 サポートセンターとみや利用者の皆さん

トピック TOPIC

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の 情報支援スタッフを募集します

- ▼活動期間 令和4年10月1~31日。
- ▼内容 手話・筆談・要約筆記(手書き・パソコン)で、聴覚障がいのある人への情報提供やコミュニケーション支援をするボランティア。
- ▼その他 応募要件や申込方法など、詳しくは、県公式ホームページURL1をご覧ください。県社会福祉協議会とちぎ視聴覚障害者情報センター ☎(627)6889へ。



▲県公式ホームページ

啓発物品を配布します

わく・わくアートコンクール in うつのみや2020入賞作品巡回展

- ▼日時・会場 ①12月4~6日=ベルモール(陽東6丁目) ②12月11~13日=東武宇都宮百貨店(宮園町) ③12月18~20日=南図書館(雀宮町)。午前10時~午後4時。
- ▼内容 障がいがある人のアートコンクールで入賞した30作品の巡回展。会場では、市内の障がい者施設で製作された障がい者週間啓発物品を配布(数に限りがあります)。

問 障がい福祉課 ☎(632)2229